



# しがレクからのおたより

Smile  
for all

平成 29 年度 第 3 号 2018.1 発行  
滋賀県レクリエーション協会 事務局 発行  
〒525-0052 滋賀県草津市西矢倉 3-17-13 黒川かず江方  
E-mail : [office@shigarec.com](mailto:office@shigarec.com)

## ご挨拶

人は人とふれあうことによって  
人となれる !!

滋賀県レクリエーション協会  
会長 前山 亨

明けましておめでとうございます。

滋賀レク協会員の皆様にはご健勝にて新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

平素は滋賀県レク協会に対し、ご支援・ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、少子化、高齢社会、情報化、またそのような生活における孤独化や脳活動の低下といった今日的課題として、心の健康づくり、体力づくり、コミュニケーション・ワーク、創作活動、野外活動といった活動が考えられますが、このような課題を解決するために幅広い研修が必要です。

ゲーム指導やキャンプの指導に際し、このような課題解決に向け、レクリエーションの素晴らしさを多くの方々に伝えていくことが今望まれています。レクリエーションの学びはレクリエーションの気づきでもあります。

今日的な課題に触れる機会として、淡海レク指協（興味のある人は前山までご連絡を）やその他の団体に加盟し、指導者同士、多くの県民との出会いの場として、さらには生きる力を育てる場として活かされるよう期待し、新年のご挨拶とします。

## 第63回滋賀県レクリエーション大会報告

平成29年11月12日（日） 9：30～16：00 会場：木之本運動公園体育館

平成29年11月12日（日）、木之本運動公園体育館において第64回滋賀県レクリエーション大会を第17回西日本ユニカール大会も兼ねて開催しました。

まず、開会式では、前山会長のあいさつのあと、長年にわたりレクリエーション活動に功績のあった個人と団体に対して功労者表彰を行いました。今年度は、淡海レク指協の永持和子さんと滋賀県ユニカール協会が表彰されました。滋賀県ユニカール協会は、平成12年11月12日が設立日で、ちょうど設立17年目の日に表彰されました。

開会式後は、一般の方を対象としたユニカール体験とユニカール大会を田中祥子氏（日本ユニカール協会会長）のご出席のもと行いました。大会には、県外27チーム（82名）、県外21チーム（62名）、計48チーム（144名）の選手の参加がありました。

地元、木之本チームの選手宣誓のあと、午前中は1レーン4チームずつに分かれて12レーンで予選リーグを行い、午後からは、各レーン2位までのチームで決勝トーナメントを行いました。

開催にあたり地元の長浜市総合型地域スポーツクラブ連絡協議会のご協力・ご支援、地元からの多数のご参加がありました。県内チームは4位までの入賞はありませんでしたが、県内6チームがトーナメント出場を果たし、健闘しました。また、小学生から高齢者までの幅広い年齢の参加で、勝ちを意識したり、親子で励ましあって投げたりして、和気あいあいのうちにゲームを行い、大会が盛り上がりました。

こうした大会をとおして、県民の皆さんがスポーツ・レクリエーションに親しみ、心身の健康づくりに励んでいただけることを願っています。

滋賀県ユニカール協会 会長 寺村義伸

### 県レク大会の様子

#### 功労者表彰



#### ユニカール体験



#### 大会の様子



## 希望が丘自然体験フェスティバル

10月14・15日に希望が丘文化公園で開催された自然体験フェアに出展し、来場者にレクリエーション活動を楽しんでもらいました。1日目は広場と芝生を使い、ブーメランとクップの指導をしました。ブーメラン独特の飛行軌道を見て、自分のところに飛ばすことにチャレンジしました。参加者はなかなか思い通りにいかなくて、あっちこっちに行き、走り回って楽しんでいました。2日目は、あいにくの雨天だったため、屋内にてラダーゲッターとマンカラをしました。小さな子供と一緒に来場された家族が多かったですが、子どもさんと親御さんが真剣になってラダーゲッターを競う姿が印象的でした。また、マンカラでは、多くのご家族で体験していただき、ぜひ購入したいという声が多く聞かれました。



ラダーゲッター



マンカラ

## 今、まさに福祉レクリエーション！！

マーレー寛子（滋賀県レクリエーション協会 理事）

介護福祉士の養成課程からレクリエーションが必修科目として消えてから何年か経ちました。今、レクリエーションを全く学ばずに現場に出てくる介護福祉士が多くなってきています。デイサービスセンターでは、レクリエーションがなければサービスが成り立たないほどレクリエーションの比重が大きいです。それも単なる時間つぶしのレクリエーションの提供では、今後の介護保険の中では通用しなくなります。一つ一つのサービスに対して説明責任が出てきます。明確な目標を立て、何のために提供しているのかを系統立てて説明できる福祉レクリエーションの総合計画や一人ひとりのニーズをもとに意図的にかかわる福祉レクリエーションサービス活用支援プランなどはまさにこれからの介護保険の中で求められる形のサービスなのです。身体的、精神的そして社会的に満たされた状態が健康であるという WHO の健康概念に基づき、それを「楽しむことができる」という側面からアプローチできるレクリエーション援助の重要性が見直されてくる時代になってきたと実感しています。私たちのこれからの課題は、福祉レクリエーションの学びを実際の福祉現場の中で、計画、活動選択、実践、評価、記録、効果測定などなど、きちんとした形を整えていく段階なのではないでしょうか？

県レクとしてどんなサポートができるかお声をお聞かせください。



## フォローアップセミナーのご案内

本年度の第2回フォローアップセミナーを3月11日（日）に大津市生涯学習センターで開催します。今回は、だれにでも簡単にできる創作活動について学びます。

### 創って飾ろう !!

近年、情報社会化が進み、ストレスの多い世の中になりました。ありふれたモノを受け入れる毎日で疲れていませんか？生活にゆとりを持ち、遊び心を持って時間を過ごすことはとても大切なことです。認知症予防にも役立つとされているクラフトをして、脳の活性化につなげましょう。

- ◆主 催：滋賀県レクリエーション協会
- ◆主 管：淡海レク指協
- ◆日 時：2018年3月11日（日） 9:15～12:15
- ◆場 所：大津市生涯学習センター
- ◆材料費：300円（紙、ボンドなど）
- ◆持参物：筆記用具、はさみ、作品持ち帰り用袋、保険証等
- ◆申込み：FAXにて、淡海レク指協事務局 077-579-2997 まで。



<http://www.city.otsu.lg.jp/manabi/lifelong/c/> より引用

## レクリエーション用具の斡旋について

当協会では、日本レクリエーション協会が販売しているレクグッズの斡旋をしています。有資格者は、協会を通して購入すると定価より安く購入することができます。毎年、サービスセンターからカタログが届いていることかと思えます。カタログが必要な方は事務局までご連絡ください。マンカラなど、人気の高い商品は品切れの場合もあり、発注してもすぐに届かないことがあります。また、日レクのホームページでも注文可能です。

日本レクリエーション協会サービスセンター：<http://shop.recreation.jp/>